

### (3) コロンビア現代史 2025年アップデート

#### 移民送還問題

➤ 産経新聞 2025/1/29

強制送還の不法移民がコロンビアに到着 手錠などで拘束の米政権に不満、自国で輸送

トランプ米政権が強制送還した不法移民を乗せたコロンビア空軍の航空機が28日、コロンビアの首都ボゴタに到着した。コロンビア政府は手錠や鎖で拘束して送還する米政権の対応に不満を示し、自国の航空機を米国に派遣して輸送する方法で送還者の受け入れを始めた。ペトロ大統領は28日、機内で撮影された送還者の写真をX(旧ツイッター)に投稿。「手錠をかけられることもなく、尊厳を持って米国からやって来る」とし「移民は犯罪者でなく、自由な人間だ」と述べた。

ペトロ氏は26日に送還者を乗せた米軍機の着陸を拒否し、トランプ大統領がコロンビアからの輸入品に25%の関税を課す制裁などの対抗措置を一時宣言。コロンビアが受け入れに同意した。

コロンビア外務省は27日、自国の空軍機を使って送還者を運ぶ計画を発表した。(共同)

<https://www.sankei.com/article/20250129-7ZJXKTM6ZFNDXIFWKYBQ2CVBEU/>

➤ Bloomberg トランプ氏の勝利宣言と食い違い、コロンビアは移民の自由な帰国祝福

Eric Martin 2025年1月29日

- 移民はコロンビア機で手錠なしで帰国、政府は低利融資で生活支援
- ペトロ大統領、「いじめ」に抵抗したリーダーと他国が認識へ

<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2025-01-28/SQT2R0T0G1KW00>



イリノイ州リヨンズで不法移民を摘発する移民局員 Bloomberg

➤ **BBC NEWS JAPAN** 2025年1月27日

### 米政府、南米コロンビアへの関税案を撤回 移民送還めぐり合意成立と

アイオニ・ウェルズ南アメリカ特派員、マル・カーシノ記者

アメリカ政府は26日深夜、南米コロンビアに対する関税案を撤回すると発表した。

ドナルド・トランプ大統領はこの日、移民を強制送還する米軍機2機の着陸をコロンビアが拒否したことを受け、同国からの輸入品すべてに25%の関税を課すと発表していた。

コロンビアのグスタボ・ペトロ大統領は、「民間機に乗った自国民なら受け入れる。犯罪者のように扱わない」と強調していた。

しかしその後のホワイトハウス声明によると、コロンビアは現在、米軍機で到着する移民を「制限や遅延なく」受け入れることに同意したという。

コロンビア政府は、米政府が送還する自国民を尊厳を持って扱うことに同意したと述べている。

ペトロ大統領は移民送還の米軍機着陸を拒否したことについて、「移民は犯罪者ではなく、人間として当然の尊厳と敬意をもって扱われるべきだ」と説明していた。

トランプ大統領はこれを受け、自身のソーシャルメディア「トゥルース・ソーシャル」で「緊急かつ決定的な報復措置」を発表。コロンビア政府の職員および協力者や支持者に対し、渡航禁止と「即時のビザ（査証）取り消し」を実施すると述べた。

これに対しペトロ大統領は、ソーシャルメディア「X」で報復関税を発表し、コロンビアのレガシーとたくましさを称賛した。

「あなたの封鎖は私を怖がらせない。なぜなら、コロンビアは美しい国であるだけでなく、世界の中心だからだ」



移民の強制送還便が始まった

US Government

しかし数時間のうちに、両国はこの対立を解決した様子。ホワイトハウスは、コロンビアが「トランプ大統領の要求のすべて」に合意したと発表した。

一方、トランプ大統領が提案した関税は「完全に準備」されており、コロンビアがこの合意を守らない場合は実施される予定だと、ホワイトハウスは述べている。

トランプ大統領は併せて、コロンビア国民に対するビザ制裁と国境での検査強化も発表していた。これらの措置は「コロンビアの強制送還者を載せた最初の飛行機が成功裏に帰国するまで」継続される予定だという。

ペトロ大統領は、コロンビアに不法滞在しているアメリカ人が1万5666人以上いると述べたが、BBCはこの数字を独自に検証できていない。

ペトロ大統領は、トランプ政権とは異なり、不法滞在のアメリカ人移民を強制送還するための強制捜査を行うことは「決してない」と述べた。

ペトロ大統領がトランプ大統領を嫌っていることは以前から知られており、これまでも、移民政策や環境政策について厳しく批判してきた。今回、その対立はさらに激化した。

ペトロ大統領は、トランプ大統領が「貪欲のために人類を滅ぼす」と述べ、トランプ大統領がコロンビア人を「劣等な人種」と見なしていると非難した。さらに、自分を「頑固」だとし、トランプ大統領が「経済力と傲慢（ごうまん）さでクーデターを試みる」ことに対し、短く言えば、反撃すると述べた。

「今日から、コロンビアは世界中に対して、両手を広げて開かれている」

コロンビアからの脅しはトランプ大統領にとり、移民問題に取り組むうえでは懸念材料となる。

<https://www.bbc.com/japanese/articles/cly7x31z9ezo>



Bloomberg

# コロンビア現代史 2025年アップデート版

©E-wink(46)

